

PSIV-6

地方都市における駐車場問題と対策例

トヨタ自動車㈱ 正員 岸田 伸一郎

1. は じ め に

駐車場不足による自動車利用客の敬遠（商業不振）、荷さばきの困難は、商店街にとって大きな問題であり、特に、地方都市では、共通の課題となっている。

表-1の要領で実施した337都市へのアンケート調査によると、地方都市では、ハード・ソフト両面からの駐車場の整備が不可欠であることが明らかになった。

表-1 アンケート調査の概要

調査対象	人口5万人以上50万人未満の全国403市の都市計画担当者
調査時期	昭和60年11月27日
調査方法	調査票を郵送により送付・回収
回収状況	403市中、337市から回収（回収率83.6%）

2. 地方都市における駐車場問題

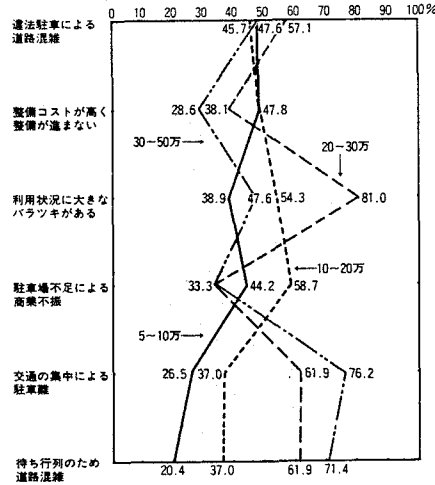
① 都市規模で違う問題

- * 10～20万人：駐車場不足による商業不振
- * 20～30万人：利用状況に大きなバラツキ
- * 30～50万人：交通の集中による駐車難

② 都市規模で違う対策

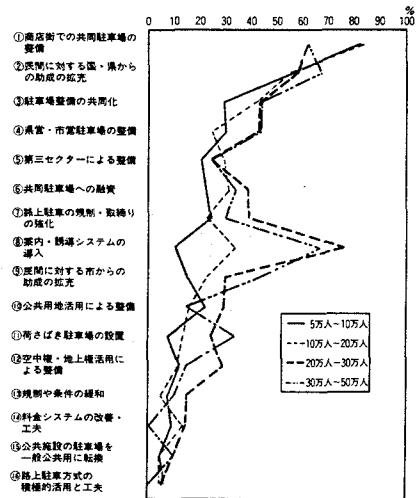
- * 10～20万人：商店街での共同駐車場の整備
- * 20～30万人：駐車場案内・誘導システムの導入
- * 30～50万人：駐車場案内・誘導システムの導入

図-1 都市規模別にみた駐車場問題（地図図）



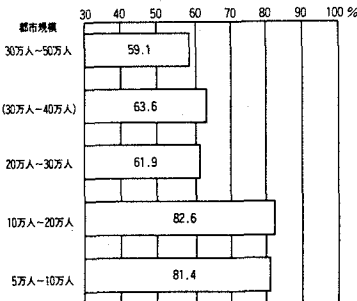
注：データは、各項目を問題であると指摘した都市の割合

図-2 今後駐車場を整備していくうえで必要な対策（地図図）



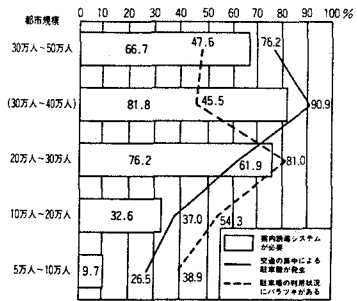
③ 地方中心都市（人口5～20万）では、「商店街の共同駐車場」の整備に高い関心

図-3 商店街での共同駐車場の整備の必要性（必要と指摘した都市の割合）



④ 地方中核都市（人口20万～50万）では、「駐車場の案内・誘導システム」に高い関心

図-4 駐車場の案内・誘導システムの必要性（必要と指摘した都市の割合）



3. 駐車場は、不可欠な都市施設

自動車利用者の駐車場から目的地までの歩行距離は、せいぜい200mまでであり、

利用者は、表-3に示すような事項を駐車場に求めている。

表-2 駐車場利用者の歩行距離の目安

都市名 (県名)	人口(万人)	歩行距離 (m)	資料出所
神戸市 (兵庫)	140.4	500	「駐車場案内情報システムに関する調査」神戸市
新潟市 (新潟)	46.5	150	「新潟市古町地区における駐車場整備計画」新潟市
松戸市 (千葉)	42.5	150	松戸市資料
長野市 (長野)	33.7	156	「駐車場案内情報システムに関する調査」長野市
高崎市 (群馬)	23.2	200	「駐車場案内情報システムに関する調査」高崎市
龍野市 (兵庫)	4.2	100	「龍野市民の購買動向」龍野市、龍野商工会議所
矢掛町 (岡山)	1.6	100	「矢掛地区居住環境整備街路事業調査」矢掛町

表-3 利用者が駐車場に求める事項

1) 配 置	目的地のすぐ近くに駐車場があること
2) 容量・混雑	いつでも待たずに駐車できること
3) 設 計	自動車の出入りと駐車が簡単であること
4) 料 金	料金が低廉（無料も含む）で料金体系がわかりやすいこと
5) 案 内	駐車場の空き状況、ないし空いている駐車場が事前にわかること

4. 都心活性化のシステムづくり

都心の活性化を図るには、単にハードウェアとしての駐車場案内・誘導システム(表-4)を導入するだけでは不十分である。市・商店街・駐車場業者などの関係者が連携し、駐車場の現況や利用実態を正しく把握することから始めて、利用者に駐車場の所在や経路を知らせる駐車場マップを作成し、共通駐車券を発行するなどして、利用者が安心して都心にやって来ることができるようにするという、ソフト面での工夫がまず重要である。

① 関心が高まる「駐車場の案内・誘導システム」

表-4 各都市の「駐車場案内・誘導システム」へのとりくみ

分 類	都 市 名 (対象駐車場/台数/実施年)
多数の駐車場を看板により案内	武蔵野市(26箇所/1,455台/57年)、立川市(7箇所/840台/61年) 倉敷市(7箇所/1,100台/63年)、高崎市(11箇所/1,200台/63年) 神戸市(21箇所/5,800台/平成元年)
電波と看板による立体的案内システム	豊田市(11箇所/2,600台/63年)
個別、数箇の駐車場を看板により案内	鳴門市(5箇所/4,400台/50年)、秋田市(1箇所/594台/55年) 奈良市(4箇所/707台/57年)、平塚市(1箇所/372台/57年) 上福岡市(3箇所/311台/59年)、横浜市(3箇所/1,245台/60年) 松戸市(1箇所/337台/60年)、福岡市(2箇所/638台/61年) 金沢市(1箇所/1,000台/61年)、徳島市(4箇所/965台/63年)
その他・検討中	甲府市(23箇所/2,608台/平成元年予定) 大阪市(3箇所/1,398台/平成元年予定) など

〔参考資料〕トヨタ交通環境委員会：

トヨタ交通環境レポート

「都市の活性化と駐車場整備」

(昭和61年10月)

「駐車場づくりのヒント」

(昭和63年10月)

② 「駐車場マップ」づくりが第一歩



●駐車場マップは車客誘引に不可欠なツール

③ 無料で利用できる「共通駐車券」も重要



●高崎商店街連盟の共通駐車券